



平成 24 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社アドバネクス

代表者名 代表取締役会長兼社長 加藤 雄一

(コード番号 5998 東証第 1 部)

問合せ先 取締役業務管理本部長 大野 俊也

(TEL. 03-3822-5865)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

平成 24 年 2 月 9 日に発表いたしました「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信[日本基準] (連結)」について訂正がありましたのでお知らせ致します。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信致します。なお、訂正箇所には下線を付しております。

## 記

○「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」(サマリー情報)

1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(1)連結経営成績 (累計)

【訂正前】

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24 年 3 月期第 3 四半期	1.84	-
23 年 3 月期第 3 四半期	2.08	-

【訂正後】

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24 年 3 月期第 3 四半期	1.89	-
23 年 3 月期第 3 四半期	2.08	-

4. その他

(4)発行済株式数 (普通株式)

【訂正前】

①期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24 年 3 月期 3 Q	41,533,708株	23 年 3 月期	40,155,637株
②期末自己株式数	24 年 3 月期 3 Q	15,106株	23 年 3 月期	469,718株
③期中平均株式数 (四半期累計)	24 年 3 月期 3 Q	41,153,204株	23 年 3 月期 3 Q	39,695,226株

【訂正後】

①期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24 年 3 月期 3 Q	41,533,708株	23 年 3 月期	40,155,637株
②期末自己株式数	24 年 3 月期 3 Q	15,106株	23 年 3 月期	469,718株
③期中平均株式数 (四半期累計)	24 年 3 月期 3 Q	40,050,748株	23 年 3 月期 3 Q	39,695,226株

○添付資料 1 1 ページ

4. 四半期連結財務諸表

(4)セグメント情報等

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【訂正前】

該当事項はありません

【訂正後】

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
減損損失	—	—	112,481	112,481

(注)減損損失は、ストロベリーコーポレーションとの株式交換により発生したのれんによるものです。

○添付資料 1 2 ページ

(6)重要な後発事象

(重要な会社分割)

(1)本会社分割の目的

【訂正前】

(前略)

こうした中で、PC事業につきましては、当初、事業の継続を前提に収益性の改善を図る計画でしたが、経済環境の変化やタイの洪水被害の影響により売上高の低迷が続いている現状を踏まえ、現在の売上規模では即時に収益性の改善を図ることは困難であると判断し、PC事業をストロベリーシカタに譲渡することといたしました。当社のPC事業を実質的に承継する四方工業株式会社(以下「四方工業」)は、平成15年11月にノートパソコンやTV向けヒンジ事業を行う子会社を設立するなど、四方工業グループとしてヒンジ事業を展開しており、今回のPC事業の承継により、今後、新たな顧客獲得による事業規模の拡大と技術力の強化による事業基盤の強化が期待されます。

(後略)

【訂正後】

(前略)

こうした中で、PC事業につきましては、当初、事業の継続を前提に収益性の改善を図る計画でしたが、経済環境の変化やタイの洪水被害の影響により売上高の低迷が続いている現状を踏まえ、現在の売上規模では即時に収益性の改善を図ることは困難であると判断し、PC事業をストロベリーシカタに譲渡することといたしました。同社のPC事業を実質的に承継する四方工業株式会社(以下「四方工業」)は、平成15年11月にノートパソコンやTV向けヒンジ事業を行う子会社を設立するなど、四方工業グループとしてヒンジ事業を展開しており、今回のPC事業の承継により、今後、新たな顧客獲得による事業規模の拡大と技術力の強化による事業基盤の強化が期待されます。

(後略)

○添付資料 13 ページ

(7)承継させる資産・負債の状況（平成 23 年 9 月 30 日現在）

【訂正前】

資産	金額（千円）	負債	金額（千円）
流動資産	40,366	流動負債	<u>44,371</u>
固定資産	151,005		
合計	191,371	合計	<u>44,371</u>

【訂正後】

資産	金額（千円）	負債	金額（千円）
流動資産	40,366	流動負債	<u>44,378</u>
固定資産	151,005		
合計	191,371	合計	<u>44,378</u>

以上